

令和 2 年度 健康づくり・スポーツ推進特別委員会

調査・研究テーマ案について

【調査・研究テーマ案】

時代の変化を見据えた、誰もが取り組める新しい運動・健康習慣について

（テーマ選定理由）

昨今の新型コロナウイルス感染症禍において、市民の日々の運動機会が制限され、多くの人々の運動習慣は減退し、1 日当たりの歩数の減少や健康状態の悪化等の影響も報告されている。こうした状況の中で、ICT ツールやデータの活用など、テクノロジーを駆使した新しい形の健康づくりの取組が求められている。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を来年に控え、インクルーシブスポーツなどの年齢や障害の有無等に関わらず誰もが取り組めるスポーツが注目されており、誰もが身近な環境で運動に取り組むことができる土壌も醸成されつつあることから、今年度は、このような時代の変化を見据えた、誰もが取り組める新しい運動・健康習慣について調査・研究することとした。

健康づくり・スポーツ推進特別委員会
令和 2 年 9 月 17 日
市民局・健康福祉局

健康づくり・スポーツ推進特別委員会 説明資料

調査・研究テーマ：時代の変化を見据えた、誰もが取り組める新しい運動・健康習慣
について

「横浜市スポーツ推進計画に基づく取組」

【取組 18】 スポーツ推進委員や、地域スポーツ団体、地域スポーツ・レクリエーション団体、企業との連携・協働の推進

【取組 27】 地域での障害者スポーツ・レクリエーション活動の推進

【取組 28】 障害者と健常者がともに楽しめるインクルーシブスポーツの推進

横浜市スポーツ推進計画に基づく取組<市民局分>

【取組 18】スポーツ推進委員や、地域スポーツ団体、地域スポーツ・レクリエーション団体、企業との連携・協働の推進

1 ヨコハマさわやかスポーツ

生涯スポーツの振興のため、市民の誰もが気軽に楽しむことのできるグラウンドゴルフやソフトバレーボールなどのニュースポーツ「ヨコハマさわやかスポーツ」を推進しています。各区に設置された「さわやかスポーツ普及委員会」が中心となり、イベントの開催、指導者の派遣、用具の貸し出し等地域で活動しています。

《「ヨコハマさわやかスポーツ」の概要》

事業開始	昭和 62 年度
普及委員会構成	スポーツ推進委員、青少年指導員、老人クラブ、子ども会 等
普及委員人数	493 人（令和元年度）
普及対象種目 【別紙 1】	グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、ペタンク、インディアカ、 チュックボール、ファジーテニス、バウンドテニス、シャフルボード、 輪投げ、ディスクゴルフ、ボッチャ 等
活動場所	スポーツセンター、地区センター、公園 等
参加者数	327, 459 人（令和元年度実績）

【取組 27】地域での障害者スポーツ・レクリエーション活動の推進

【取組 28】障害者と健常者がともに楽しめるインクルーシブスポーツの推進

1 地域での障害者スポーツ・レクリエーション活動とインクルーシブスポーツの推進

各区のスポーツセンター等で障害者スポーツの指導員の配置や用具の充実等を図り、障害者団体への運動指導など定期的なプログラムを提供しています。また、令和元年度からは「インクルーシブスポーツ推進事業」として、障害者と健常者がともに楽しむことができるイベントの開催や、地域のスポーツ関係団体と連携し、18 区で交流会等を実施するなど、年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが身近な場所でスポーツに親しめる機会を提供しています。

(1) インクルーシブスポーツイベントの開催

ア 「インクルーシブ陸上 2019 in YOKOHAMA」 令和元年 9 月 14 日（土）

障害者の陸上記録会と誰もが参加できるリレーイベントを開催【参加人数 348 人】

イ 「ヨコハマベイサイドスポーツカーニバル 2019」 令和元年 11 月 16 日（土）

パラスポーツ体験・ダンス・エアカーリング等の誰もが参加できるスポーツイベントを開催【参加人数 7,174 人】

(2) 地域におけるインクルーシブスポーツの実施

実施内容	ボッチャ、ファジーテニス、リズムジャンプ、輪投げ等の体験会・交流会
実施場所	18 区スポーツセンター、地域ケアプラザ、小学校 等
参加者数	5,430 人（令和元年度実績）

横浜市スポーツ推進計画に基づく取組 <健康福祉局>

【取組 27】地域での障害者スポーツ・レクリエーション活動の推進

1 障害者スポーツ文化センターラポール上大岡の開所

障害者スポーツ文化活動の新たな支援拠点として、「ラポール上大岡」を令和2年1月10日に開所しました。ラポール上大岡では、横浜ラポールとの一体的な運用を通して、両施設の規模や特性に応じて機能を分担することで、より一層の障害者スポーツの推進を図ります。

《施設概要》

所在地	横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
施設構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 延べ床面積 約2,000m ²
施設・設備	フィットネスルーム、トレーニングルーム、地域連携室、健康相談コーナー、体育室、創作エリア、多目的室
利用登録者数	715人（令和2年9月13日時点）

（1）ラポール上大岡の取組の特徴

障害のある方が、個々のニーズや障害特性・健康状態に応じて、ご自宅でも自主的な運動・健康習慣の実施が可能となるよう、体組成分析等を行い、健康相談や個別の運動プログラムの提供・指導を行い「個別健康増進プログラム」を実施していきます。

2 地域ネットワーク構築支援

ラポール上大岡の開所を契機として、ラポールの職員が地域に出向いて行う出張教室を、横浜ラポールと出張エリアを分けることで効率的に実施するなど強化していきます。

また、障害者スポーツへの多様化するニーズに応えられるよう、様々な団体との連携を深め、障害児者が参加できるスポーツ事業の創造と、その事業の地域展開に取り組んでいきます。

《出張スポーツ教室の事例（令和元年度実績）》

○地域での障害者スポーツ教室の開催（7回 参加106人）

○フォローアップ支援の実施（16回 参加290人）

※ラポールの支援により地域で自主的なスポーツ活動を始めた団体等への支援

○ボランティア研修会の開催（13回 参加814人）

○地域のニーズに対応した取組（60回 2,771人）

3 「地域のニーズ対応した取組」について

■連携団体（実績）

横浜市スポーツ協会、地域活動支援センター（瀬谷はーと）、中途障害者活動支援センター（港南区、磯子区、瀬谷区、戸塚区）、市立本郷特別支援学校、横浜市視覚障害者福祉協会、横浜州市聴覚障害者情報提供施設、港南療育センター、港南スポーツセンター、等

■内容

障害者スポーツのイベントや、施設の職員向け障害者スポーツ研修会、障害特性に合わせた運動教室の開催など、各団体と御相談に応じて、コンセプト作りから具体的な開催方法まで、トータルな支援を行っています。

今後は、これをさらに拡充し、障害者スポーツの新たな価値の創造を目指して、様々な団体等と連携し、障害のある方が身近な場所でスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいきます。